

第7回ユニットケア 全国セミナー

ユニットケアで
「その人らしい暮らし」は
実現したのか？
どう実現していくのか？

2006年
介護保険制度改革!!

地域密着型サービス創設
サテライト型居住施設特区認定

ユニットケアの可能性を探る!!

【会場】 栃木県総合文化センター

【主催】 「第7回ユニットケア全国セミナー」実行委員会

2005.08.06(Sat)ー07(Sun)

第7回ユニットケア全国セミナー

ユニットケアで「その人らしい暮らし」は実現したのか？どう実現していくのか？

【趣 旨】

宅老所の一人ひとりの暮らしに寄り添うケアの実践に学び、誕生したのがユニットケアです。現場の様々な取り組みの中からたくさんの気づきが生まれ、それがまた、施設を大きく変える原動力になってきました。ユニットケアは「高齢者介護革命」と呼ばれるようになり、「全室個室・ユニットケア」施設の制度化とともに全国的に広がっています。また、しょうがい者や子どもの施設からも、ユニットケアの実践が報告されるようになりました。

第7回目のとなる今回は、ユニットケアに取り組むことで「その人らしい暮らし」がどこまで実現したのかを検証し、これから実現に向けて何が求められているのかを、様々な視点から検討し、これからのユニットケアのあり方・進め方を考えあいます。

今回のセミナーは、次の3つの視点をポイントにして構成しています。

1. ユニットケアで「その人らしい暮らし」を実現するためには、どのような取り組みが必要なのかを、現場の実践から学びあいます。
2. ユニットケアの実践を様々な角度から検証し、今後のあり方を考えあいます。
3. 実践者と政策担当者、研究者などが一堂に会し、それぞれの立場から「その人らしい暮らし」には、どのような支援が必要なのかを語りあいます。

【期 日】 2005年8月6日(土) 12:00～8月7日(日) 15:10

【会 場】 栃木県総合文化センター
(栃木県宇都宮市本町1番8号)

【主 催】 「第7回ユニットケア全国セミナー」実行委員会

【共 催】 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会
地域サテライトケア推進サミット
安心した生活と住みやすい地域を作る実践会議
全国地域生活支援ネットワーク

【プログラム】[1 日目 / 8 月 6 日 (土)]

時 間	内 容
12:30～13:00	開 会
13:00～14:20	<p>ユニットケアへの誘い</p> <div> <p>なぜユニットケアが必要なのか。これまでの施設ケアとは何が違うのか。2006 年の介護保険法改正に向けて、施設もまた大きな変革を迫られています。新型・既存の特養と、児童養護施設の 3 つの実践から、ユニットケアの目指すことが何なのかを明らかにします。</p> </div> <p>話し手</p> <p>【一部新型特養】さつき荘（栃木県） 介護士長 田野井 晴 美</p> <p>【既存特養】美瑛慈光園（北海道） 介護主任 佐 藤 秋 子</p> <p>【児童養護】至誠学園（東京都） ファミリーソーシャルワーカー・養護部副部長 石 田 昌 久</p> <p>聞き手</p> <p>神戸学院大学総合リハビリテーション学部 助教授 藤 井 博 志</p>
14:20～14:40	休 憩
14:40～16:10	<p>現場発セッション「失敗から学んだその人らしい生活を支えるユニットケア」</p> <div> <p>ユニットケアが広がりを見せる一方で、多くの実践者がつまずきや失敗を体験しています。現場の力で変えられること、現場だけでは変えることのできないこと。実際にユニットケアに取り組む中で体験したつまずきや失敗をもとに、そこから何を学び、次に活かしていったのかを話し合います。現場のスタッフと管理者が一緒になって、ユニットケアを通じたお年寄りの暮らしを考えます。</p> </div> <p>報告者</p> <p>【新型特養】大台共生園（三重県） 介護課長 大 村 みち代</p> <p>【既存特養】すこやか大雄（秋田県） 施設長 米 谷 恭 一</p> <p>【既存特養】つつはの園（鹿児島県） 事務長 坂 井 明 弘</p> <p>サポーター</p> <p>厚生労働省老健局計画課認知症対策推進室 室 長 大 島 一 博</p> <p>コーディネーター</p> <p>季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉 田 照 雄</p>
16:10～16:30	休 憩
16:30～18:30	<p>特別セッション「その人らしい暮らしを地域で支える～栃木の実践から学ぶ～」</p> <div> <p>なじみの関係や近隣とのつながりを大切にしながら地域で暮らし続けたいというお年寄りの願いに寄り添い、生まれた栃木の宅老所。ユニットケアは、この宅老所の実践から生まれました。その人らしい暮らしを地域で実現していくために、ユニットケアにとどまらない支援の本質を宅老所に学ぶとともに、今後の高齢者福祉の展望を語り合います。</p> </div> <p>報告者</p> <p>栃木県立宇都宮女子高等学校図書委員会 3 年 藤 田 紗也香 ・ 斎 藤 郁 恵 2 年 丸 山 友 希 ・ 服 部 由実子</p> <p>パネラー</p> <p>【宅老所】あいあい（栃木県） 代 表 高 木 敏 江</p> <p>栃木県老人福祉施設協議会 会 長 半 田 昇</p> <p>特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代 表 武 田 和 典</p> <p>栃木県 知 事 福 田 富 一</p> <p>厚生労働省 厚生労働審議官 辻 哲 夫</p> <p>コーディネーター</p> <p>日本福祉大学社会福祉学部 教 授 平 野 隆 之</p>
19:00～21:00	懇親会

[2 日目 / 8 月 7 日 (日)]

時 間	内 容												
9 : 30 ~ 12 : 00	<p>第 1 分科会 ユニットケアの導入法</p> <div> <p>ユニットケアの入門編！ユニットケアに取り組んでみたものの、なかなかうまくいかない。どこから手をつけ始めたらよいかわからない、悩み、戸惑いを感じている方必聴です！</p> </div> <p>パネラー</p> <table> <tr> <td>【新型特養】天神の杜（京都府）</td><td>施設長 五十棲 恒 夫</td></tr> <tr> <td>【老健】グリーンケアハイツ（福島県）</td><td>人事担当部長 稲 本 恵 子</td></tr> <tr> <td>【医療】西香川病院（香川県）</td><td>副院長 大 塚 智 丈</td></tr> <tr> <td>【知的更生】かりがね学園（長野県）</td><td>副園長 半 田 正 直</td></tr> </table> <p>サポーター</p> <table> <tr> <td>国際医療福祉大学医療福祉学部</td><td>教 授 高 橋 紘 一</td></tr> </table> <p>コーディネーター</p> <table> <tr> <td>特養・老健・医療施設ユニットケア研究会</td><td>代 表 武 田 和 典</td></tr> </table>	【新型特養】天神の杜（京都府）	施設長 五十棲 恒 夫	【老健】グリーンケアハイツ（福島県）	人事担当部長 稲 本 恵 子	【医療】西香川病院（香川県）	副院長 大 塚 智 丈	【知的更生】かりがね学園（長野県）	副園長 半 田 正 直	国際医療福祉大学医療福祉学部	教 授 高 橋 紘 一	特養・老健・医療施設ユニットケア研究会	代 表 武 田 和 典
【新型特養】天神の杜（京都府）	施設長 五十棲 恒 夫												
【老健】グリーンケアハイツ（福島県）	人事担当部長 稲 本 恵 子												
【医療】西香川病院（香川県）	副院長 大 塚 智 丈												
【知的更生】かりがね学園（長野県）	副園長 半 田 正 直												
国際医療福祉大学医療福祉学部	教 授 高 橋 紘 一												
特養・老健・医療施設ユニットケア研究会	代 表 武 田 和 典												
	<p>第 2 分科会 ユニットケアで進める質の改革（評価・質の確保の取り組みから）</p> <div> <p>ユニットケアをスタッフの自己満足で終わらせないためにも、ユニットケアで実現しているケアや暮らしの質を振り返ることが求められています。スタッフの育成方法のほか、自己評価や第三者評価など、さまざまな取り組みを紹介しながら、議論を深めます。現場のスタッフが変われば施設も変わる！！</p> </div> <p>パネラー</p> <table> <tr> <td>【特養】</td><td>（調 整 中）</td></tr> <tr> <td>栃木県社会福祉協議会利用支援部</td><td>部長補佐 大 島 清 美</td></tr> <tr> <td>宇都宮市保健福祉部高齢福祉課（栃木県）</td><td>課 長 福 田 渡</td></tr> <tr> <td>日本福祉大学地域ケア研究推進センター</td><td>主任研究員 毛 利 志 保</td></tr> </table> <p>サポーター</p> <table> <tr> <td>全国社会福祉協議会・中央福祉人材センター</td><td>参 事 諏 訪 徹</td></tr> </table> <p>コーディネーター</p> <table> <tr> <td>日本福祉大学社会福祉学部</td><td>教 授 平 野 隆 之</td></tr> </table>	【特養】	（調 整 中）	栃木県社会福祉協議会利用支援部	部長補佐 大 島 清 美	宇都宮市保健福祉部高齢福祉課（栃木県）	課 長 福 田 渡	日本福祉大学地域ケア研究推進センター	主任研究員 毛 利 志 保	全国社会福祉協議会・中央福祉人材センター	参 事 諏 訪 徹	日本福祉大学社会福祉学部	教 授 平 野 隆 之
【特養】	（調 整 中）												
栃木県社会福祉協議会利用支援部	部長補佐 大 島 清 美												
宇都宮市保健福祉部高齢福祉課（栃木県）	課 長 福 田 渡												
日本福祉大学地域ケア研究推進センター	主任研究員 毛 利 志 保												
全国社会福祉協議会・中央福祉人材センター	参 事 諏 訪 徹												
日本福祉大学社会福祉学部	教 授 平 野 隆 之												
	<p>第 3 分科会 ネットワークで進める職員改革</p> <div> <p>先進的にユニットケアに取り組んでいる地域では、ユニットケアをよりよいものにするために、いくつかの施設が連携しながら勉強会を開催したり、職員交流を行ったりしています。そうした交流を通して、ユニットケアの意義を確認し、自分たちの働く施設をなんとかしたいという思いを後押ししています。この分科会ではそうしたいくつかの実例を参考にしながら、都道府県等を単位とした実践ネットワークの意義を考えます。</p> </div> <p>パネラー</p> <table> <tr> <td>かみかわユニットケア・サテライトケア研究会（北海道）</td><td>幹 事 杉 本 勝 美</td></tr> <tr> <td>栃木県老人福祉施設協議会</td><td>副会長 菊 池 敏 行</td></tr> <tr> <td>三重県老人福祉施設協議会</td><td>副会長 久 野 美 文</td></tr> <tr> <td>京都市老人福祉施設協議会</td><td>会 長 山 田 尋 志</td></tr> </table> <p>コーディネーター</p> <table> <tr> <td>佐野短期大学社会福祉学科</td><td>教 授 山 田 昇</td></tr> </table>	かみかわユニットケア・サテライトケア研究会（北海道）	幹 事 杉 本 勝 美	栃木県老人福祉施設協議会	副会長 菊 池 敏 行	三重県老人福祉施設協議会	副会長 久 野 美 文	京都市老人福祉施設協議会	会 長 山 田 尋 志	佐野短期大学社会福祉学科	教 授 山 田 昇		
かみかわユニットケア・サテライトケア研究会（北海道）	幹 事 杉 本 勝 美												
栃木県老人福祉施設協議会	副会長 菊 池 敏 行												
三重県老人福祉施設協議会	副会長 久 野 美 文												
京都市老人福祉施設協議会	会 長 山 田 尋 志												
佐野短期大学社会福祉学科	教 授 山 田 昇												

第4分科会 ユニットケアを振り返る～方法としての逆デイサービス～

逆デイサービスは、施設に入居している人が地域の民家や公民館などへ出かけていき、日中をそこで過ごす試みです。これまで、施設の中では落ち着かなかったお年寄りが自宅に近い環境の中で落ち着きを取り戻したり、逆にスタッフがお年寄りの暮らしのあり方を気づかされたりといった効果が報告されています。この分科会では逆デイサービスの実践を通して、今のユニットケア、施設ケアに欠けているものが何かを明らかにし、気づきのツール、研修のツールとしての逆デイサービスのあり方や可能性を考えます。

パネラー

【既存特養】永寿（大阪府）	在宅介護支援係長 神 園 裕 己
【老健】アルボース（群馬県）	相談室長 前 田 正 博
【知的更生】のまる（千葉県）	施設長 中 川 公 二
サポーター	
和歌山大学システム工学部	教 授 足 立 啓
コーディネーター	
生活クラブ（千葉県）	理事長 池 田 徹

第5分科会 ケアプランから考えるその人らしい暮らし ～ユニットケア導入のためのケアプラン～

ユニットケアで求められているのは、一人ひとりの暮らしの支援です。従来のケアプランは身体介護が中心であり、暮らし全体を支えるものにはなっていませんでした。ユニットケア研究会では2004年から、ユニットケアを導入するのにふさわしいケアプランのあり方を検討してきました。現場のスタッフが利用者一人ひとりと向き合う中で作られる新しいケアプランのあり方を皆さんと一緒に考えてみませんか。

パネラー

【既存特養】いずみの園（大分県）	特養事業部長 岩 崎 深 雪
【既存特養】よなご幸朋苑（鳥取県）	次 長 高 岡 久 雄
【既存特養】万葉苑（奈良県）	特養次長 松 尾 智 志
コーディネーター	
季刊・痴呆性老人研究	編集長 泉 田 照 雄

第6分科会 介護保険改正から見える高齢者の暮らし

2006年の介護保険改正で、地方自治体は自らの地域の福祉を主体的に考えることが求められるようになります。その地域密着型サービスについて、実践例を参考にしながら市町村の役割と支援方法を一緒に考えます。

パネラー

【既存特養】こぶし園（新潟県）	施設長 小 山 剛
【宅老所】託老所あんき（愛媛県）	代 表 中 矢 暁 美
近江八幡市健康福祉部高齢福祉・介護課（滋賀県）	課 長 村 井 幸之進
栃木県保健福祉部高齢対策課	課 長 小 暮 義 雄
厚生労働省老健局計画課	課長補佐 山 田 登志夫
コーディネーター	
神戸学院大学総合リハビリテーション学部	助教授 藤 井 博 志

12:00～13:00

休 憩

13:00～15:00	<p>まとめのセッション「これからの地域福祉を展望する」</p> <div> <p>2006 年の介護保険制度改正では、地域密着型サービスの創設や地方自治体の権限拡大など、施設や自治体に求められる役割は変化し、ますます大きくなっていきます。地域で支える仕組みづくりを目指し、実践者は高齢・障害の枠を越えて取り組み、都道府県・市区町村は住民とともに考え創造する地域福祉の実践を始めています。福祉施設や地方自治体の今後のあり方を最新の制度情報を交えながら議論します。</p> </div> <p>パネラー</p> <table> <tr> <td>メインストリーム協会（兵庫県）</td><td>副代表 玉 木 幸 則</td></tr> <tr> <td>沖代すずめ（大分県）</td><td>代 表 吉 田 日出子</td></tr> <tr> <td>【既存特養】アザレアンさなだ（長野県）</td><td>施設長 宮 島 渡</td></tr> <tr> <td>大田原市（栃木県）</td><td>市 長 千 保 一 夫</td></tr> <tr> <td>サポーター</td><td></td></tr> <tr> <td>厚生労働省老健局計画課</td><td>課 長 川 尻 良 夫</td></tr> <tr> <td>コーディネーター</td><td></td></tr> <tr> <td>国際医療福祉大学大学院</td><td>教 授 大 熊 由紀子</td></tr> </table>	メインストリーム協会（兵庫県）	副代表 玉 木 幸 則	沖代すずめ（大分県）	代 表 吉 田 日出子	【既存特養】アザレアンさなだ（長野県）	施設長 宮 島 渡	大田原市（栃木県）	市 長 千 保 一 夫	サポーター		厚生労働省老健局計画課	課 長 川 尻 良 夫	コーディネーター		国際医療福祉大学大学院	教 授 大 熊 由紀子
メインストリーム協会（兵庫県）	副代表 玉 木 幸 則																
沖代すずめ（大分県）	代 表 吉 田 日出子																
【既存特養】アザレアンさなだ（長野県）	施設長 宮 島 渡																
大田原市（栃木県）	市 長 千 保 一 夫																
サポーター																	
厚生労働省老健局計画課	課 長 川 尻 良 夫																
コーディネーター																	
国際医療福祉大学大学院	教 授 大 熊 由紀子																
15:00～15:10	閉 会																

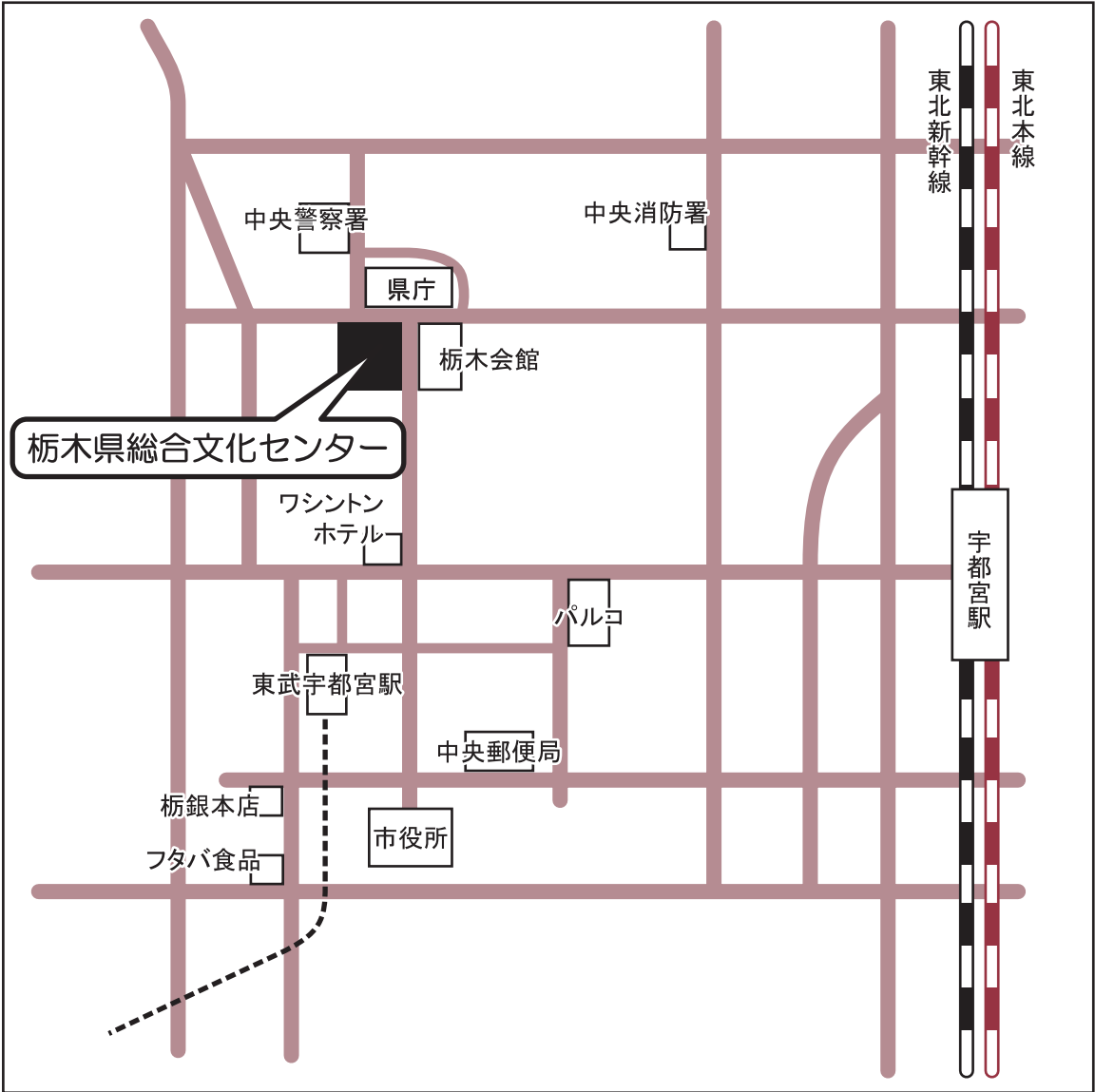
【定 員】 1 , 5 0 0 人

【参加費】 1 5 , 0 0 0 円（当日資料を含む）

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会交流会につきましては、1 会員お 1 人様に限り 1 2 , 0 0 0 円になります。

【懇親会費】 7 , 0 0 0 円

■ 会場案内図 ■



＜＜電車をご利用の場合＞＞

- JR線——JR宇都宮駅 下車 バスで『県庁前』下車 徒歩約3分
■ 東武宇都宮線——東武宇都宮駅 下車 徒歩約5分

＜＜バスをご利用の場合＞＞

- 各地から——『県庁前』『東武駅前』停留所下車 徒歩約3分
【関東バス】作新学院、戸祭、江曾島行きなど（5～10分毎）

＜＜自家用車をご利用の場合＞＞

- 東北自動車道——鹿沼 I.C. から約 9 km 約 30 分
※周辺の有料駐車場をご利用ください。
ただし、契約駐車場ではありませんので駐車料金ががかかります。
ご了承ください。

ユニットケア推進のための参考書

ユニットケアの歴史をひも解く
数多くの実践が紹介された専門書



発行：全国コミュニティライフサポートセンター
発売：筒井書房
定価：2,400 円（税込）

ユニットケア実践者のための専門誌

ユニットケアでGo!

8月6日堂々創刊！

気になる創刊第一号の特集は『ユニットケア流「暮らし」のつくり方』。ユニットケアで利用者一人ひとりの暮らしはどう実現されているのか。関わり（ソフト）・環境作り（ハード）の両面から、実践を掘り下げます。大規模施設で実現される「暮らし」とは!? 実践に役立つ情報盛りだくさんの一冊です！

監修：武田和典

発行：全国コミュニティライフサポートセンター

発売：筒井書房 定価：未定

「ユニットケアのケアプラン」

著者：泉田照雄 武田和典 / 定価 2,730 円



本書の一部

全国の 21 の先進施設とともに
考えたケアプランシートが掲載

【主な内容】

- 第 1 章 ユニットケアの基本 ライフサポート
- 第 2 章 ユニットケアのケアプランの考え方編
- 第 3 章 ユニットケアのケアプラン プランシート編



上記書籍は、別途同封された「書籍案内」にて
ご注文ください。

【問い合わせ先】

全国コミュニティライフサポートセンター
〒981-0954 仙台市青葉区川平 5-3-18-207
TEL022(719)9240 FAX022(719)9251

ユニットケア

実践テキスト&ビデオも好評発売中